

平成 30 年 10 月 25 日
健康推進課

平成 29 年度練馬区がん検診無料チケット事業について

1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は 20 歳、乳がん検診は 40 歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

2 事業内容

子宮がん、乳がん検診の検診初年度となる、20 歳および 40 歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付した。

無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、受診により検診に対する誤解や不安を払拭する。

啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診（20 歳）	11.0%
乳がん検診（40 歳）	26.0%

4 実施状況

<対象者>

子宮がん検診（20 歳）	平成 9 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日生まれ
乳がん検診（40 歳）	昭和 52 年 4 月 1 日～昭和 53 年 3 月 31 日生まれ

<対象者数、受診件数および受診率>

子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
27 年度（ ）	3,706 人	136 件	3.7%
28 年度	3,684 人	159 件	4.3%
29 年度	3,445 人	174 件	5.1%

乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
27年度()	5,848人	807件	13.8%
28年度	5,556人	1,283件	23.1%
29年度	5,455人	1,290件	23.6%

27年度については、未実施年度となり、事業実施後の比較のための参考の数値となります。

< 発送日 >

平成 29 年 4 月 25 日 (火)

5 受診率向上効果について

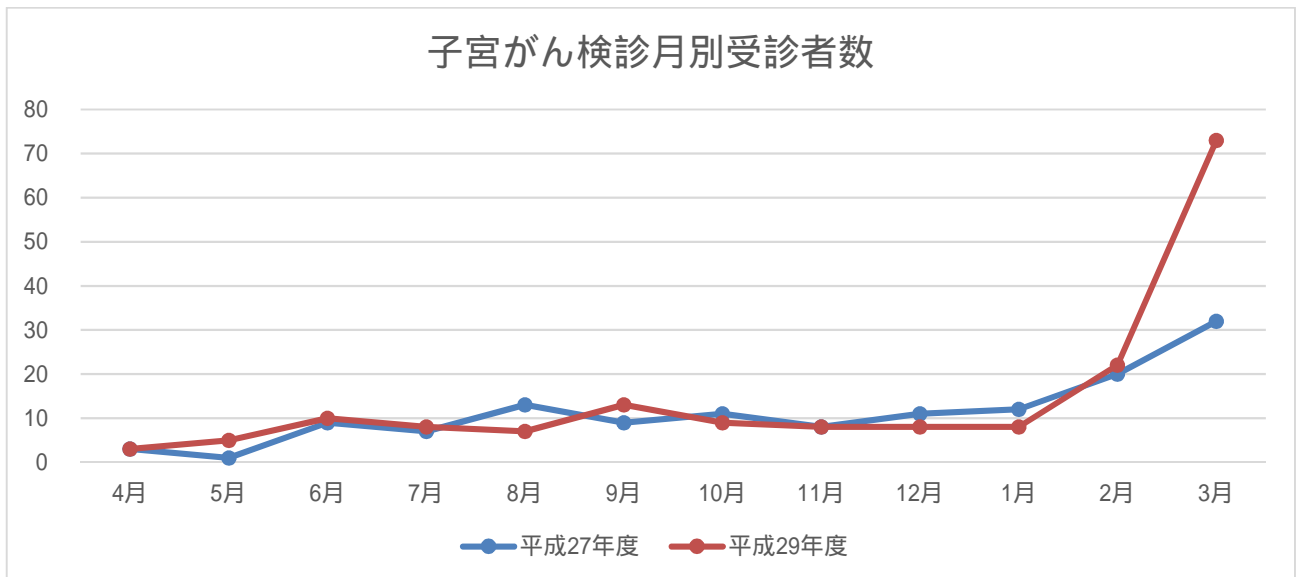
受診率向上効果を検証するため、無料チケット事業を行っていなかった平成 27 年度と比較した。

(1) 平成 27 年度との比較

【子宮がん検診】

3月以外は大きな差は見られなかったが、受診数、受診率共に27年度を上回った。

29年度 174人(5.1%)、27年度 136人(3.7%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 27 年度	3	1	9	7	13	9	11	8	11	12	20	32	136
平成 29 年度	3	5	10	8	7	13	9	8	8	8	22	73	174

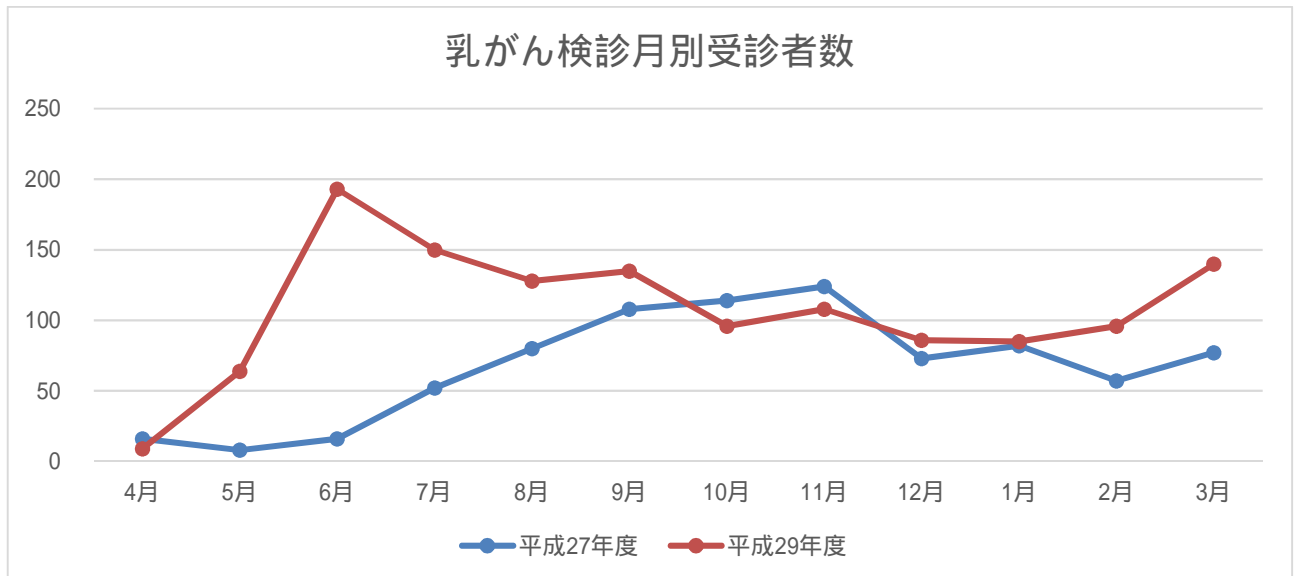
【乳がん検診】

乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、6月以降の受診状況を比較する。

29年度の6月の受診者数は、対前月比で約5.8倍増加し、6月から9月の受診者数は27年度を大きく上回った。

10、11月は27年度が上回るものの、2、3月は再び29年度の受診者が増加し、27年度を上回った。

29年度 1,290人(23.6%) 27年度 807人(13.8%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	16	8	16	52	80	108	114	124	73	82	57	77	807
平成29年度	9	64	193	150	128	135	96	108	86	85	96	140	1,290

6 考察

- (1) 子宮がん検診では、少しずつ受診率としては上がっているが、大きな受診率向上効果は確認できなかった。子宮がん検診受診の大切さを若年層へ広めるために、再受診勧奨や成人式での勧奨などと連携させていくことが必要と考える。
- (2) 乳がん検診では、無料チケットによる受診率向上効果が見られた。今後、更に受診率を向上させるために通年で受診者数を高水準で保てるような工夫について検討する。